

第15回ジョン万次郎 フェスティバル開催



「第15回ジョン・万次郎フェスティバル」が米国姉妹都市マサチューセッツ州フェアヘブンで、2015年10月3日に盛大に開催されました。当協会が企画した「ジョン万祭りツアー」（10月1日～7日）へは、磯脇副市長を団長に、清水高校生派遣事業等の4名と中学生2名を含む市内外から、総勢24名の参加がありました。

また、このツアーには、本市と姉妹都市提携を結んでいる沖縄県豊見城市の宜保市長も初参加。このツアー以外での参加者を含めると40名を超える参加があり、開催地であるフェアヘブンには多くのジョン万ファンが集まりました。フェスティバル当日の天候は、去年の「土佐清水ジョン万祭り」と同様、“ジョン万日和”となり、雨は降らなかったものの、冷たい強風のため、メイン会場を町役場に移しての開催となりました。

会場内に土佐清水市のブースが用意され、折り紙やけん玉、紙風船など昔遊びの紹介や、現地の方の名前を漢字に当てはめて筆で書くコーナーが終日大盛況で、高校生をはじめツアー参加者メンバーは対応に大忙しでしたが、身振り、手振りなども加え笑顔で親交を深めることができました。

祭りのフィナーレは、磯脇副市長を先頭に、すっかり恒例となった『あしずり踊り』（現地ではTOSA DANCEと呼ばれてます）を披露。現地の方も踊りの輪に入り、楽しく和やかなうちに終了することができました。

今回初めて参加した方も、現地みなさんに心温まる歓迎を受け、日米友好の絆を深めることができ、来年本市で開催される「第6回土佐清水ジョン万祭り」での再会を約束しました。

第15回ジョン・万次郎フェスティバル つづき

万次郎トレール

10月4日

祭りの翌日は、ホイトフィールド・万次郎友好協会のルーニー会長、文子さんご夫妻の案内で、「万次郎トレール」と呼ばれる、アメリカ生活中の万次郎が残した足跡を辿りました。

万次郎が通った公立小学校は、ほぼ当時のままで、ルーニー会長の、ユーモアを交えた流暢な日本語の説明を聞きながら、万次郎の姿を思い浮かべました



【オールド・ストーン・スクール】
～ルーニー会長が『始まり』のベルを鳴らします～



～当時の様子を写した写真が飾られていました～



【ホイトフィールド家のお墓】
～船長や、船長家一族が永眠されています～



副市長が代表して船長のお墓に献花を行いました。船長が永眠されているこのリバーサイド墓地は、とても明るい雰囲気よく手入れが行き届いたきれいな墓地でした。

～清水高校生姉妹都市派遣事業の報告～

土佐清水市姉妹都市友好協会と清水高校では、学生の国際意識の向上と姉妹都市・姉妹校との友好を深めるため、学生を米国姉妹都市へ派遣する事業を行っています。「第15回ジョン万次郎フェスティバル」へ参加する形で、行いましたので参加した4名（土佐清水ジョン万祭りカルタ取り大会優勝者副賞1名含）からの報告を紹介します。



2年 井村 王彦
(いむら きみひこ)

僕がこの姉妹都市訪問に参加した理由は、以前からずっと一度は海外に行ってみたいという気持ちが強かったからです。

「ジョン万祭り」では日本の昔遊びをしました。現地の方はとても興味を持ってくれて、人気でした。

しかし、僕の英語はほとんど通じず、勉強不足を痛感しました。

万次郎トレイルでは万次郎のことを身近に感じることができて、とても良かったです。彼の通った小学校にはひらがなが書かれており、彼の影響を

感じました。ボストンやニューヨーク観光も楽しい思い出になりました。ボストンではハーバード大学や高級住宅街に行きました。ニューヨークは想像していたよりはるかに大きく、高層ビルばかりで楽しみにしていたタイムズスクエアはとても煌びやかでした。将来機会があれば、是非また行ってみたいと強く思いました。



2年 山崎 彩
(やまさき あや)

私が今回の姉妹都市訪問に参加した理由は、以前より海外に行き、外国の文化に触れてみたいと思っていたからです。

ジョン万祭りで私たちは日本の昔遊びと書道をしました。昔遊びは来ていただいた多くの方が夢中になって遊んでくれました。また、漢字で名前を書いてあげるととても喜んでくれたので嬉しかったです。最後に踊った足摺踊りも楽しかったです。

ジョン万次郎ゆかりの地に行き、自分の知らなかった事が多くあり、とても勉強になりました。

姉妹都市訪問に参加して多くの方々との交流や、異文化に触れ、とても良い経験をさせてもらいました。自分がアメリカに行って感じたことやジョン万次郎について今回学んだことをこれから色々な人に伝えていきたいです。



2年 山本 晃海
(やまもと きらみ)

私は将来英語を活かした仕事に就きたいと考えています。

アメリカに行くことで将来の選択肢の幅を広げたいと思い、今回の姉妹都市訪問に参加させていただきました。

日本を出発するまではとても不安でした。

しかし、ボストンに到着し、日本とは全く異なる風景を目にして、とてもわくわくしました。

ジョン万祭りで私たちはけん玉やコマなどの日本の昔遊びをしました。多くの方が来て楽しんでくれて嬉しかったです。

また、ジョン万次郎が暮らしていた町や通っていた学校、教会に行き、ジョン万次郎のことを深く知ることができて、とても勉強になりました。

今回の姉妹都市訪問に参加して、将来英語を活かした仕事に就きたいと思う気持ちが強くなりました。短い間でしたが様々なことを学ぶことができました。今回の姉妹都市訪問をさせていただきありがとうございました。支えてくださった方々や、お世話になった方々へ感謝します。



3年 尾崎 智彩
(おさき ちさ)

私は2年前にもこの姉妹都市訪問に参加させていただき、今回は2回目の訪問でした。

今回は前回よりももっと積極的に向こうの人たちと交流することを目標にして、それを果たすことができましたと思います。

ジョン万祭りでは、日本のアニメが好きな私と同年代の人たちと会うことができました。

そこで周りの方の助けを通してですが、日本のアニメについて楽しく話げることがとても印象に残っています。

また、食事会の時、前回の訪問でお世話になった方のご両親に会うことができ、そこでは自分から英語で自分の意思を伝えることができました。アメリカの人たちは優しい方ばかりで、万次郎はこんな温かい環境で育ったのだと実感できました。

豊見城市スポーツ少年団と姉妹都市交流

7月31日から4日間の日程で姉妹都市である沖縄県豊見城市より総勢28名のスポーツ少年団が本市を訪れました。

8月1日は「第28回郵YOU杯少年野球大会」を浦尻グラウンドを会場として開催。

豊見城市より2チーム、清水清小ナイン、三崎・山奈連合チーム、三原・下ノ加江連合チームの計5チームで熱戦が繰り広げられ、豊見城フレンズがみごと優勝しました。

炎天下での試合にもかかわらず、参加したどのチームも大きな声援を送り、一生懸命にボールを追いかけて、全力でプレーをしていました。

夜にはあしずり祭りの花火大会を見学し、子ども達からは大きな歓声が上がりました。

翌日は、下ノ加江川での川遊びやバーベキュー大会、午後からの総合公園多目的広場で行われた四国アイランドリーグ公式戦「高知ファイティングドッグス」対「香川オリーブガイナース」では、郵YOU杯少年野球大会優勝チームキャプテンの仲本政世（まさとき）君が始球式を行いました。仲本君の力強い投球に、観客からは、どよめきと大きな拍手が起こりました。

4日間という短い間でしたが、子ども達は清水の夏を満喫し、交流の輪を広げることができたでしょう。



「第28回郵YOU杯少年野球大会」

優勝 豊見城フレンズ

準優勝 豊見城ファイターズ

第3位 三原・下ノ加江連合チーム



国際交流事業

～ハロウィン仮装コンテスト・パレード～

11月1日（日）、土佐清水ジョン万祭りにあわせて行っていたハロウィン仮装コンテスト・仮装パレードを今年は単独で開催しました。

めいめいに仮装をした参加者が、天神町ボミ工前駐車場（ハロウィン広場）へ集合。自慢の仮装を披露しました。



【パレード出発】



コンテストの審査員として、A L Tの方々にも参加してもらい、異文化交流を図りました。

コンテスト終了後は、中央商店街へむけて出発。子ども達は、商店街をパレードしながら、お店の方からお菓子をもらっていました。

コンテスト：24組・パレード：子ども109名、大人50名の参加があり、大変賑やかな異文化体験となりました。

【第15回ジョン万次郎フェスティバル】



【郵YOU杯・スポーツ交流 夏の受入】



【国際交流；ハロウィン仮装大会・仮装パレード】

